

事業&活動報告

千葉市民活動フェスタ2021 100の思いを千の未来へ もっとつながるオンライン 進化系のフェスタ準備中

昨年に続いて、特設ウェブサイトでの配信が中心の開催となった千葉市民活動フェスタ2021がいよいよ始動。千葉市制100周年の年でもあり、「100の思いを千の未来へ もっとつながるオンライン」というテーマで展開します。

今年は説明会も、基本オンラインで開催しました。登録団体の様子を拝見しても、会議にZoomを使うなど、オンラインの活用には馴染んでおられるようで、大きな混乱もなく準備は進んでいます。とはいえ、コロナの影響による活動の縮小や減退は避け難く、10月上旬時点での参加団体数が前年をやや下回っているのは、予測の範囲内とはいえ寂しいところです。

大きなステージでの発表はありませんが、団体紹介動画収録会は日時と場所を変えて2回実施。これは団体の広報ツールとして、動画を大いに役立てて頂きたいと企図です。

きぼーるアトリウムでの資料の配架は今年も実施。インターネット放送局は「ちばさぼTV」と題して11月21日にライブ配信、今年



はセンターの独自事業とのコラボレーションを予定しています。



■市民活動ステップアップ講座

「地域づくりの視点からSDGsを学ぼう！」開催報告

当センターとしては初めてとなる「SDGs」をテーマとした講座を、10月9日に開催しました。講師は、一般社団法人環境パートナーシップ会議副代表理事の星野智子さん。市内在住で、地元でもさまざまな地域活動に関わられています。



対面とオンラインのハイブリッド方式で、前半は講義、後半はグループワークという構成での実施となり、先生にはたいへんご苦勞をおかけしましたが、おかげさまで受講者の満足度はたいへん高い講座となりました。

事務局の我々も、大いに学ばせていただきました。「環境問題は経済問題であり、人権問題でもある」といった説明にハッとさせられ、SDGsに関係があるのは環境分野で活動をしている団体だけではないということも、再認識させられました。また、SDGsは「世界の共通言語(目標)」ですが、決してグローバルな取組ということではなく、市民活動団体が行っている地域課題解決の取組は、ローカルレベルでのSDGs達成につながる

のだと理解しました。

市民活動団体にとっては、活動のパートナーを増やす機会にもなるといったお話も、聞きながら拝聴しました。より多くの団体がSDGsをほんの少し意識するだけで、市民活動の価値は高まると思います。「ワークの時間が短かった」「グループ分けの方法に工夫を」といった感想も寄せられたので、再度、同様な講座を開催したいと考えています。



ミニコラム

ちばさぼの風 vol.46 “アラフィフ”からの市民活動

私事ですが、もうすぐ50歳の誕生日を迎えようとしている中でこのコラムを書いています。四十にして感わず、とはならなかった自分ですが、五十にして天命を知りつつある(かも?)と感じているこの頃です。言うまでもなく孔子の「論語」からの引用ですが、そもそも晩年を振り返ってのことばなので、今の時点で「天命」など言うのは思い上がりかもしれません。ただ、三十を前に市民活動の世界に足を踏み入れた自分が、約20年経った今も関わりを持ち続けているのは、ある意味“天からの使命”というか、“与えられた道”のようなものだと考えてもいいのかと思っています。

自分は大学院を出た後、民間企業に就職をし、数年間ですがサラリーマン生活を送りました。訳あって退職し、これからどうしようかと考えている時に、退職した会社の先輩から「お前はNPOが向いてるんじゃないか?」と助言をいただき、よくわからないけれど、信頼している先輩が言うのだから調べてみようと思い、動き始めたことが人生の大きなターニングポイントになりました。この調子だと自伝のようになってしまうので、軌道修正します(汗)。

ボランティア活動に参加したり、NPO法人を立ち上げ

たり、企業で社会貢献活動に従事したりといった「市民活動」に関わりを持つ機会は、20年前より大きく広がっていると言えるでしょう。たまたま知った活動がNPO法人によるものだったり、必要に迫られて身近な地域課題に取り組んだり、気づいたら市民活動に関わるようになっていた、という方も増えているように感じます。

特に“アラフィフ”世代は、子育てに手がからなくなって時間的余裕が増えたり、残りの人生について考えるようになったり、市民活動に関わりを持つには良いタイミングだと思います。また、社会的に責任の重い立場になった方が、気分転換をしたり、まだ知らぬ世界に接したりできるのも市民活動の魅力です。

さあ、あなたも市民活動に参加してみませんか?などと書くとちょっと胡散臭いでしょうか。同世代だからこそ話せることもあると思うので、“アラフィフ”の方からの相談をお待ちしています!(は)

